

学 園 報

No.46

富山国際学園 URL <http://www.tii.ac.jp/>
 富山国際大学 URL <https://www.tuins.ac.jp/>
 富山短期大学 URL <https://www.toyama-c.ac.jp/>
 富山国際大学付属高等学校 URL <http://www.tuins-h.ed.jp/>

富山短期大学付属みどり野幼稚園 URL <https://www.toyama-c.ac.jp/info/midorino/>
 社会福祉法人富山国際学園福祉会にながわ保育園 URL <http://www.tkfukushikai.or.jp/ninagawa/>
 社会福祉法人富山国際学園福祉会西田地方保育園

●学校法人富山国際学園

〒930-0193 富山市瀬海寺水口444
 TEL/076-436-5139
 FAX/076-436-5444

小学校の統廃合



理事長
金岡 克己

新型コロナウイルスが猛威を振るい、中国武漢の交通封鎖からわずか2ヵ月で180を超える国に拡散しました。100年前の新型インフルエンザ・スペイン風邪は、感染者5億人、死者4000万人とされています。1918年3月のアメリカでの発生から、同年10月の日本の第一次流行まで半年あまり。100年の間に、いかにグローバル化が進んだかがわかります。

2020年2月27日の小中高一斉休校の要請により、学童保育（放課後児童クラブ）の存在がクローズアップされました。小学校の休校に違和感を覚えた関係者は少なくないでしょう。

学校の運営は、学校教育法に基づき、国、地方公共団体そして学校法人にしか認められていません。すなわち、厳格に管理され、保健室、給食のある広い小学校を休校とし、運営主体、設置基準が緩やかで、スタッフも脆弱、狭い学童保育を推奨している訳ですから。その後4月7日の緊急事態宣言で、学童や保育所も限定運用の方針が示されましたが、児童の安全を守る、また感染のクラスター発生を防ぐという趣旨と矛盾していたと思います。

こうした政策が打ち出され実施された背景に、児童の父母を取り巻く就労環境の変化、学童保育の実態に対する、国、地方の政策担当者の理解不足があるのではと感じます。

近年小学校の統廃合が進み、その総数は昨年5月現在19,738校と2万を割り込みました。児童数は6,368,550人です。一方、昨年12月の厚生労働省発表によれば、放課後児童クラブは増え続け、小学校を上回る25,881ヵ所、登録児童数は1,299,307人に達しています。

少子化対策として、昨年10月から幼児教育の無償化が始まりました。学童保育の急増は、小学校、特に低学年において、放課後の児童の安全な居場所をどう確保するかという、幼児と似た課題があることを物

語っています。

日本の明治維新後の急速な欧米へのキャッチアップの要因として、日本人の高い識字率が指摘されています。これを支えたのが江戸時代の寺子屋の存在です。記録に残る数は、全国7割5分の地域の累計で16,560ヵ所ですが、一説には5万を超えていたとされます。

江戸時代後期の日本の人口は、琉球を除き32百万人程度。これと比較すると現在の小学校の数は少ないでしょう。

過去の痛ましい事件を受け、小学生の登下校時の安全確保への関心が高まっています。富山県警察では、2018年10月から町内会向けに防犯カメラの貸し出し事業を行っています。設置される場所の殆どが通学路です。

地域の小学校の統廃合が、財政問題などを理由に進んでいるようです。しかしながら、これ以上数を減らすべきではないと考えます。児童の安全の確保、そして地域の拠点として小学校が果たす大きな役割を考えれば、徒歩圏内に小学校があるのが理想でしょう。

私見ですが、児童を低学年と高学年に分け、低学年は近くの小規模校へ、高学年はより専門的な教員が配置できる統合校に通うのがよいのではないのでしょうか。通学路の安全、放課後の居場所も確保しやすくなることでしょう。

小学校1年生と6年生では、身体能力や精神面の発達に大きな差が認められます。同一に扱うとする合理的な理由は見当たりません。従来の法律をただ守るのではなく、人口減少局面において、未来を担う児童の社会的養育により良い方法を見つけ出すという、広い視野での発想の転換が求められると思います。

CONTENTS

- | | | | |
|---|---|-----------------------------|-----|
| □小学校の統廃合 理事長 金岡 克己 | 1 | □令和2年度入試状況・令和元年度進路状況等 | 5 |
| □特集1 新型コロナウイルス感染防止対策としてのICTの活用について | 2 | □学園退職者・新任者一覧 | 5 |
| □特集2 学童保育への学生の参加の様子 | 3 | □令和2年度予算概要 | 6～7 |
| □特集3 社会福祉法人富山国際学園福祉会 西田地方保育園が開園しました | 4 | □学園 NEWS | 8 |

新型コロナウイルス感染防止対策としての ICT の活用について

富山国際大学附属高等学校 教務部 中山 哲秀

1. 国による令和2年3月2日(月)からの臨時休校の要請を受けて、本校では日程変更などの対応をとった。

- (1) 卒業式実施日の変更
(3月3日(火))を2月29日(土)に変更)
- (2) 3学期の一部期間の休校
(3月2日(月)から3月23日(火))
- (3) 分散登校(1、2年各クラス1日)

2. 休校期間中はICTを活用して様々な取り組みを行った。

- (1) 日程変更に関する各種連絡に、GメールやGoogle クラスルームを活用した。
- (2) 毎日午前8時に生徒全員にGoogle フォームで健康観察を配信し、生徒からの返信をスプレッドシートで集約して、体調が心配な生徒には電話で連絡を取った。

A	B	C	D	F	G
タイムスタンプ	メールアドレス	今日の体調	当てはまる現在の体温	学年	
3/3/2020 8:39:12	aaaaa_bbbbbb@tuins-h.ed.jp	よい		36.2	1年生
3/3/2020 8:40:35	cccccc_ddddd@tuins-h.ed.jp	よい		36.6	1年生
3/3/2020 8:49:25	eeeeee_fffff@tuins-h.ed.jp	悪い	腹痛	36.5	1年生
3/3/2020 9:05:19	gggggg_hhhhh@tuins-h.ed.jp	悪い	腹痛	36.7	1年生
3/3/2020 9:07:17	iiiiii_jjjjj@tuins-h.ed.jp	よい		36.1	1年生

健康観察調査まとめ

- (3) 毎朝、午前9時までにGoogle クラスルームで2～3科目の課題を配信した。
担任は未受信の生徒を確認し、電話による連絡を行った。
生徒は午後3時までに、課題の解答をGoogle クラスルームで投稿した。
課題配信者は時間内の投稿の有無や、課題の取り組み状況の確認をし、スプレッドシートに入力した。

時間内に投稿がない生徒には、課題配信者がGメール等で連絡した。

全体的に取り組み状況の優れない生徒については、課題配信者と担任が状況を共有した上で、担任から当該生徒へ連絡した。

この課題の成績を3学期の成績に反映させた。

記入内容		未提出⇒『未出』、提出で(内容がOK⇒『○』)(内容が不十分⇒△)(内容がアウト⇒×)													
						3月3日(火) 出欠確認		出欠 確認		3月4日(水) 1科目 2科目 3科目					
クラス 番号		氏名		ふりがな		性別		出欠		出欠		英語		保健	
1	1	国際 太郎		こくさい たろう		女		○		○		○		○	
1	2	剣 幸子		つるぎ さちこ		女		○		○		○		○	
1	3	ユネスコ スクール		ゆねすこ すくーる		女		○		○		○		○	
1	4	中山 海斗		なかやま かいと		女		○		○		○		○	

学童保育への学生の参加の様子

富山国際大学 子ども育成学部 講師 佐部利 典彦

令和2年、3月頃から全世界がコロナウイルスの脅威にさらされています。4月中旬になって富山県でも感染者が急激に増えています。2月の終わりから3月の時点では、富山県にはまだ感染者がいない状況でしたが、学校が休校になるとの発表がありました。小学校が休校になれば、共働き等の家庭では、学童保育に子どもを預けることになる、預かる時間も長くなる、ということは、学童保育で働く人員が必要になると予測が立ちました。

普段から情報交換や研究の話をしている富山短期大学の明柴先生から「学生に声をかけ、学生に学童保育の現場に行ってもらおうという活動はどうでしょうか?」という提案がされました。これは良い案だと思いました。明柴先生は普段から保育現場やその周辺の福祉の問題に取り組まれ、現場の状況を把握し、迅速に動かれ、成果を挙げておられます。即、動くことにしました。行政と学生に連絡を入れました。学生には安心して活動に参加してもらえるように、保険の加入と有償ボランティアとしてもらえるように行政と相談しました。学生は短期大学と学部合わせて30名の応募がありました。学生が、即、声を上げてくれたことはとてもたのしく思いました。



活動後のアンケートの中で学生は、大学での学びを活かしたい、地域に貢献したいという気持ちをもっていたり、緊急時の対応を経験してみたい、子どもたちと関わってあそんだり、学習指導をしたいというそれ

ぞれの思いや視点をもって参加してきたことが分かります。またアンケートの中で学童の大切さ、意義、活動内容などについても各々意見や提案をもってくれています。学童の活動に大学のサークルで行くのはお互い楽しいのではないかと、子どもたちの学習の充実が必要ではないかと、あそびが子どもにとってやはりとても重要であるとか、現場に行ったからこそその貴重な意見、提案が出ています。

また、参加を表明した学生の必要な情報を富山市の子ども育成健康課に送り、担当の越村さんが迅速に学生の住所の近くの施設とマッチングしてくださり、とても迅速に活動を開始することができました。とてもありがたく、感謝しております。短大、学部、学生、行政、学童の現場が一体感をもって活動している感じがもてたのがうれしかったです。



学童保育での子どもたちと学生の様子を見に行きました。子どもたちはどんどん学生と絡んで、遊んでいて、夏休み等にも来てほしいという声もあがっていました。私の娘も学童保育にお世話になっていて、学童での自由があつての活動や、大学生の指導員との楽しいエピソードなどをよく話してくれます。コロナウイルスの危機の現状で保育や学童、学校の重要性がより明確になっています。明柴先生は次の提案を考えています。私も重要性を具体的に示すことができたかと考えています。コロナウイルスの一刻も早い終息を願い、子どもたちや学生と元気に活動できる時に向けて、活動計画を練っていきます。

社会福祉法人富山国際学園福祉会 西田地方保育園が開園しました

社会福祉法人富山国際学園福祉会 法人本部事務局長

富山国際大学子ども育成学部 教授 宮田 徹

開園式

令和2年4月1日、富山市立西田地方保育所の民営化を受けて、社会福祉法人富山国際学園福祉会「西田地方保育園」



(定員220人：細川優子園長)がスタートしました。新型コロナウイルスの影響で、子どもたちと職員・法人関係者のみの参加による開園式となりましたが、金



岡克己理事長と年長児が、新しい園名が刻まれた看板の除幕を行い、新しい保育園の幕開けと子どもたちの進級をお祝いしました。

緊急事態宣言・登園自粛要請

6日に予定していた入園式は、近隣で新型コロナウイルスの感染が確認されたことで、直前に中止としました。新入園児を迎え、「さあ、これから！」という時に職員の気持ちがしほみそうにもなりましたが、いつものように登園する子どもたちの笑顔と元気な声に再び士気を高める4月でした。そこからの緊急事態宣言や登園自粛要請と日々変化する社会の動向に対応しながら、毎日の健康チェックや手洗いの励行、頻回な消毒、換気等の様々な予防策に努めています。学校が休校となっても、医療従事者など社会を支える方々の子どもの保育を継続するのが保育園の社会的使命です。保護者の皆様のご協力を得て、4月下旬からの登園自粛期間、登園率は50%から4月末は30%になり、5月中旬までは40%でした。その間、登園していた子どもたちも、他者との接触が減り、感染リスクを低減することができました。

安全・安心な学びの場の再構築をめざして

こうした中、子ども一人ひとりの安全・安心と育ちを支える保育環境と活動内容を見直す園内研修を進めています。以下、取り組みのいくつかを紹介します。

①室内環境の見直し

子どもの興味・関心に応じ、主体的に活動できる室内環境と保育士の関わり工夫を進めています。

②「おもしろそう、やってみたい」を生み出す環境
遠足がなくなり散歩で公園へ行くこともままならない中、保育園での日々の生活が充実したものとなるよう、園庭に築山を造設することにしました。

③情報の共有

日々の保育活動の姿を伝える写真や「今日の出来事」掲示などで保護者の皆様との共有をめざします。



④新しい生活スタイル

十分な間隔をとるために、保育室だけでなく、廊下や玄関ホールも利用して給食やおやつを食べています。



6月からは登園自粛されていた方も平常保育となり、保育園も活気が戻りつつあります。しかしながら、新型コロナウイルスの影響はこれからも続きます。今までの日常があたりまえでなくなろうとも、保育園は安全・安心の場でなくてはなりません。保育園は、3密を回避することがなかなか難しい環境です。しかし、この乳幼児期にしかできない体験＝「学び」の機会を確保し、保護者の皆様が安心して預けられる保育園としての役割は変わりません。感染症対策に配慮しながら必要な体験ができる行事の工夫など、子どもたちの育ちを支える学びの場の再構築をめざす取り組みは今後も続きます。



令和2年度入試状況

大 学

(令和2年4月3日現在)(単位:人)

学 部	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
現代社会	120	310	307	247	114
子ども育成	90	276	276	185	89
合 計	210	586	583	432	203

※現代社会学部の合格者数には、第二志望合格10名を含む

短 大

(令和2年4月3日現在)(単位:人)

学 科	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
食物栄養	80	121	121	120	84
幼児教育	80	155	154	137	94
経営情報	110	221	220	184	125
健康福祉	40	49	49	51	38
食物栄養専攻	15	7	7	7	7
合 計	325	553	551	499	348

※食物栄養学科、幼児教育学科、健康福祉学科の合格者数には、第二志望合格者を含む

高 校

(令和2年4月8日現在)(単位:人)

コース	募集人員	出願者	受験者	入学者
国際英語コース	2クラス	261	261	57
特 進 コ ー ス	1クラス	556	553	38
フロンティアコース	4クラス	645	641	146
合 計	7クラス	1462	1455	241

令和元年度進路状況

(令和2年5月1日現在)(単位:人)

学 部	卒業生	就職希望者	就職決定者	決定率(%)	進学者
現代社会	97	85	85	100.0	7
子ども育成	92	85	85	100.0	5
合 計	189	170	170	100.0	12

※現代社会学部の進学者には、大学研究生4名を含む

※子ども育成学部の進学者には、専門学校1名を含む

(令和2年5月1日現在)(単位:人)

学 科	卒業生	就職希望者	就職決定者	決定率(%)	進学者	研究生
食物栄養	76	73	73	100.0	1	
幼児教育	86	84	84	100.0	1	
経営情報	121	113	113	100.0	5	
福 祉	29	27	27	100.0	2	
食物栄養専攻	15	5	5	100.0	0	12
合 計	327	302	302	100.0	9	12

※研究生のうち、3名は就職決定者を含む

(令和2年3月31日現在)(単位:人)

大 学	合格者	入学者	短期大学	合格者	入学者	その他	合格者	入学者	卒業生
富山国際大学	26	12	富山短期大学	20	19	専修各種学校	54	43	245
国公立大学	30	28	公立短期大学	0	0	就 職		26	
他の私立大学	203	101	他の私立短期大学	10	10	そ の 他		6	
合 計	259	141	合 計	30	29	合 計		75	

令和2年度入園児童

幼稚園

(令和2年4月9日現在)(単位:人)

	男	女	合計
3歳児	14	8	22
4歳児	0	1	1
合 計	14	9	23

※新入園児のみ

令和元年度卒園児童

(令和2年3月31日現在)(単位:人)

	男	女	合計
5歳児	14	14	28

◆退職者一覧(令和2年3月31日)

- 〈大 学〉 長尾 治明(地域交流センター 教授)
 後藤 智(現代社会学部 教授)
 谷脇 茂樹(現代社会学部 講師)
 伊藤 雄馬(現代社会学部 講師)
 重本 祐樹(現代社会学部 講師)
 中島るみ子(事務部 部長・学園本部事務局 次長)
 岩木 博明(学務部 課長)
- 〈短 大〉 深井 康子(食物栄養学科 教授)
 林 佳美(教務部 係長)
 岡野 文香(食物栄養学科 主事兼実習助手)
- 〈高 校〉 林 要昭(教諭)
 阿波加真澄(教諭)
 伊井 昌彦(教諭)

◆新任者一覧(令和2年4月1日付)

- 〈大 学〉 新森 昭宏(現代社会学部 教授)
 永井あやめ(学務部 主事)※令和2年1月1日付
 鈴木 寿章(事務部 主事)
- 〈短 大〉 中島真由美(健康福祉学科 教授)
 半田 彩実(食物栄養学科 講師)
 荻山 沙織(食物栄養学科 主事兼実習助手)
 宮下 玲華(事務部 主事補)
- 〈高 校〉 奥澤 久夫(教諭)
 島 実沙樹(教諭)
 中川 祐人(講師)

令和2年度 予算概要

令和2年度の事業計画及び予算は、去る3月25日開催の評議員会・理事会において承認されました。

各校の主な事業計画及び予算の概要は以下のとおりです。

【事業計画】

大学

- ①教育の質保証の向上をめざし、アクションプランに基づき多様な取り組みを推進
- ②外部資金の積極的な獲得
- ③国際化教育及び情報教育の充実を図り、ITや5Gを活用したスマートキャンパス化の推進【現代社会学部】
- ④保育・教育・福祉の人材育成及び情報教育の推進を図り、現代社会学部と連携したスマートキャンパス化の推進【子ども育成学部】

短大

- ①教育の質保証・向上のための教育改革
- ②地域連携活動や学生のボランティア活動の推進
- ③支援を要する学生への相談支援、教育環境の整備
- ④介護ニーズの多様化・複雑化・高度化に対応した新教育課程の開設準備【健康福祉学科】
- ⑤各学科の教育力向上に努め、地域の産業と生活向上に貢献する人材育成推進

高校

- ①国際化教育及びICT教育の推進
- ②2021年1月から実施予定の大学入試改革を見据えたきめ細かい学習指導実施
- ③良好な教育サービスの提供のための教育環境整備

幼稚園

- ①新園舎の魅力発信及び保育内容周知の強化
- ②幼稚園型認定こども園として、新たな幼児教育・保育ニーズに対応した取り組みの推進

資金収支予算書

令和2年4月1日から
令和3年3月31日まで (単位：千円)

		令和2年度予算額	令和元年度当初予算額	差　　異
収入の部	学生生徒等納付金収入	2,102,377	2,015,866	86,511
	手数料収入	37,554	37,435	119
	寄付金収入	2,503	1,903	600
	補助金収入	603,322	589,341	13,981
	資産売却収入	1	1	0
	付随事業・収益事業収入	30,674	27,938	2,736
	受取利息・配当金収入	5,220	8,220	△ 3,000
	雑収入	64,726	59,427	5,299
	借入金等収入	0	0	0
	前受金収入	449,412	441,812	7,600
	その他の収入	144,174	173,388	△ 29,214
	資金収入調整勘定	△ 559,322	△ 557,572	△ 1,750
	前年度繰越支払資金	1,127,127	819,103	308,024
収入の部合計	4,007,768	3,616,862	390,906	
支出の部	人件費支出	1,666,689	1,685,066	△ 18,377
	教育研究経費支出	559,185	593,615	△ 34,430
	管理経費支出	157,305	139,385	17,920
	借入金等利息支出	0	0	0
	借入金等返済支出	0	0	0
	施設関係支出	66,531	23,836	42,695
	設備関係支出	51,391	35,224	16,167
	資産運用支出	4,512	4,512	0
	その他の支出	130,500	158,500	△ 28,000
	〔予備費〕	15,500	15,500	0
	資金支出調整勘定	△ 112,000	△ 100,000	△ 12,000
	次年度繰越支払資金	1,468,155	1,061,224	406,931
	支出の部合計	4,007,768	3,616,862	390,906

事業活動収支予算書

令和2年4月1日から
令和3年3月31日まで (単位：千円)

	科 目	令和2年度予算額	令和元年度当初予算額	差 異
教育活動収入	学生生徒等納付金	2,102,377	2,015,866	86,511
	手数料	37,554	37,435	119
	寄付金	4,506	3,906	600
	経常費等補助金	603,322	589,341	13,981
	付随事業収入	30,674	27,938	2,736
	雑収入	64,726	59,427	5,299
	教育活動収入合計(1)	2,843,159	2,733,913	109,246
	人件費	1,670,689	1,689,066	△ 18,377
	教育研究経費	882,185	940,615	△ 58,430
	管理経費	160,304	142,384	17,920
教育活動外収入	徴収不能額等	1	1	0
	教育活動外収入合計(2)	2,713,179	2,772,066	△ 58,887
	教育活動収支差額(3)=(1)-(2)	129,980	△ 38,153	168,133
	受取利息・配当金	5,220	8,220	△ 3,000
	その他の教育活動外収入	1	1	0
	教育活動外収入合計(4)	5,221	8,221	△ 3,000
	借入金等利息	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出合計(5)	0	0	0
	教育活動外収支差額(6)=(4)-(5)	5,221	8,221	△ 3,000
経常収支差額(7)=(3)+(6)		135,201	△ 29,932	165,133
特別収入	資産売却差額	1	1	0
	その他の特別収入	3,503	3,503	0
	特別収入合計(8)	3,504	3,504	0
	資産処分差額	8,600	5,100	3,500
	その他の特別損失	1	1	0
特別支出	特別支出合計(9)	8,601	5,101	3,500
	特別収支差額(10)=(8)-(9)	△ 5,097	△ 1,597	△ 3,500
〔予備費〕(11)		15,500	15,500	0
基本金組入前当年度収支差額(12)=(7)+(10)-(11)		114,604	△ 47,029	161,633
基本金組入額合計(13)		△ 60,832	△ 28,470	△ 32,362
当年度収支差額(14)=(12)+(13)		53,772	△ 75,499	129,271
前年度繰越収支差額(15)		△ 2,763,799	△ 2,762,278	△ 1,521
基本金取崩額(16)		0	0	0
翌年度繰越収支差額(17)=(14)+(15)+(16)		△ 2,710,027	△ 2,837,777	127,750
(参考)				
事業活動収入合計(1)+(4)+(8)		2,745,638	2,745,638	106,246
事業活動支出合計(2)+(5)+(9)+(11)		2,792,667	2,792,667	△ 55,387

令和2年度部門別事業活動収支予算書

(単位：千円)

活動区分		部 門	科 目	法 人	大 学	短 大	高 校	幼 稚 園	総 額
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	0	937,392	741,570	422,665	750	2,102,377	
		手数料	0	12,420	12,804	12,300	30	37,554	
		寄付金	1	2,502	3	1,000	1,000	4,506	
		経常費等補助金	0	127,701	125,017	283,887	66,717	603,322	
		付随事業収入	0	14,221	10,073	0	6,380	30,674	
		雑収入	200	5,625	55,990	2,911	0	64,726	
		教育活動収入合計(1)	201	1,099,861	945,457	722,763	74,877	2,843,159	
	支出の部	人件費	27,879	580,371	568,828	444,513	49,098	1,670,689	
		教育研究経費	0	349,629	285,785	206,244	40,527	882,185	
		管理経費	15,050	71,591	55,083	17,400	1,180	160,304	
		徴収不能額等	0	1	0	0	0	1	
教育活動支出合計(2)		42,929	1,001,592	909,696	668,157	90,805	2,713,179		
教育活動収支差額(3)=(1)－(2)			△ 42,728	98,269	35,761	54,606	△ 15,928	129,980	
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	5,020	100	100	0	0	5,220	
		その他の教育活動外収入	0	0	1	0	0	1	
		教育活動外収入合計(4)	5,020	100	101	0	0	5,221	
	支出の部	借入金等利息	0	0	0	0	0	0	
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0	0	
		教育活動外支出合計(5)	0	0	0	0	0	0	
教育活動外収支差額(6)=(4)－(5)			5,020	100	101	0	0	5,221	
経常収支差額(7)=(3)+(6)			△ 37,708	98,369	35,862	54,606	△ 15,928	135,201	
特別収支	収入の部	資産売却差額	0	0	1	0	0	1	
		その他の特別収入	0	1,000	1,003	1,000	500	3,503	
		特別収入合計(8)	0	1,000	1,004	1,000	500	3,504	
	支出の部	資産処分差額	0	2,000	6,000	600	0	8,600	
		その他の特別損失	0	0	1	0	0	1	
特別支出合計(9)		0	2,000	6,001	600	0	8,601		
特別収支差額(10)=(8)－(9)			0	△ 1,000	△ 4,997	400	500	△ 5,097	
【予備費】(11)			2,000	5,000	5,000	3,000	500	15,500	
基本金組入前当年度収支差額(12)=(7)+(10)－(11)			△ 39,708	92,369	25,865	52,006	△ 15,928	114,604	
基本金組入額合計(13)			△ 10	△ 35,975	△ 11,607	△ 13,240	0	△ 60,832	
当年度収支差額(14)=(12)+(13)			△ 39,718	56,394	14,258	38,766	△ 15,928	53,772	
前年度繰越収支差額(15)			—	—	—	—	—	△ 2,763,799	
基本金取崩額(16)			—	—	—	—	—	0	
翌年度繰越収支差額(17)=(14)+(15)+(16)			—	—	—	—	—	△ 2,710,027	
(参考)									
事業活動収入合計(1)+(4)+(8)			5,221	1,100,961	946,562	723,763	75,377	2,851,884	
事業活動支出合計(2)+(5)+(9)+(11)			44,929	1,008,592	920,697	671,757	91,305	2,737,280	

【予算概要】

事業活動収支予算において、収入については、学生生徒等納付金 87 百万円増、経常費等補助金 14 百万円増などにより、事業活動収入合計が 2,852 百万円（対前年度比 106 百万円増・3.9%増）となりました。支出については、人件費 18 百万円減、教育研究経費 58 百万円減などにより、事業活動支出合計が 2,737 百万円（同 56 百万円減・2.0%減）となり、基本金組入額 60 百万円余りを差し引いた当年度収支差額は、54 百万円の黒字予算となりました。

資金収支予算において、令和2年度の学園が行う諸活動に対応する収入として、学生生徒等納付金収入、補助金収入、付随事業・収益事業収入、令和3年度入学生の前受金収入、令和元年度末の未収入金等が計上されています。一方、支出として、人件費支出、

教育研究経費支出、管理経費支出、施設設備関係支出等が計上されています。その結果、令和2年度の諸活動に対応するすべての収入・支出の資金として、4,008 百万円（同 391 百万円増・10.8%増）が見込まれています。

学園の財務状況は、単年度ベースでは、3年振りに黒字予算となりました。これは、学生生徒数等が定員確保の見込みとなり、経常費等補助金も前年度を上回ることを見込んでいる予算となったためです。本学園では、収入の約95%が学生生徒等納付金と経常費等補助金で占められています。従って、これらの予算を確実に獲得することや新たな収入源を確保すること、そして、支出予算の効率的かつ効果的な執行が求められます。

富山国際大学

田んぼと酒蔵は優れた教室



令和2年3月から大学オリジナルブランドの日本酒づくりプロジェクトがスタートしました。「夏田冬蔵」の酒造り言葉に従って、現代社会学部の学生と教員が富山市八尾町桐谷地区で、実際に田んぼを借り、田植えの準備として堆肥撒きや代掻き等の農作業に取り組みました。酒米作りは田植えからでなく、米の種を発芽させるところから始めます。

人文科学の立場から見る米作り・酒造りを出発点として、現代社会学部の4専攻の各々の視点から酒造り文化・歴史・言葉・マーケティングなどを検討します。多くの人の手や自然の力、その土地独自の文化等が関わっています。新しい富山の魅力を、力を合わせて作り出していくことを一つ

の目的として行動していきます。また、地域の農家・蔵人・地元関係者その他一般住民との交流を通じて地域理解を深め、社会人になるために必要なコミュニケーション能力を身につけ、それを形として残す『作品』にして、美味しい日本酒を生み出すことをめざしています。

富山短期大学

「学生によるオレンジリボン運動」全国大会に出場

令和2年2月16日(日)、幼児教育学科2年生が、児童虐待の予防・啓発を広報する「学生によるオレンジリボン運動」全国大会(国立オリンピック記念青少年総合センター)に出場し、奨励賞を受賞しました。全国約70校の中から、一次審査を通過した6校の大学、短大、専門学校が独自の取り組みを発表し、情報交換を行いました。唯一の短期大学生でしたが、緊張しながらも堂々とした発表でした。各校の取り組みや発表の手法、チームワークなどを学び、全国的な視野へと広げる大会でした。学生たちは、4月から保育現場で働き始めています。今後も児童虐待の予防・啓発に取り組み、子どもと保護者の子育てを支え、福祉人として活躍してくれることを期待しています。本学は、この活動を今後も幼児教育学科の学生が継承し、児童虐待の発生予防に努める保育の専門家を養成していきます。



富山国際大学附属高等学校

新入生を迎えて

本校は令和2年4月8日(水)に241名の新入生を迎え、入学式を挙行了しました。今年は新型コロナウイルスの影響により、新入生と学校関係者のみでの挙式とし、保護者の皆様には各教室で式のライブ映像をご覧いただきました。内容も簡略化し、例年よりも静かで短めの式ではありましたが、魚津東部中学校出身の黒坂颯生(くろさか せつき)さんは、新入生代表として、堂々と高校生活への期待と抱負を語ってくれました。

入学式以降は、国の要請に従い、在宅学習の期間としました。毎日の健康調査、オンライン授業、課題提出と、少しでも学習内容に遅れが出ないように取り組みながら、生徒たちの不安を取り除くために、ビデオ通話での担任面談なども行いました。6月から登校が始まり、対面授業が再開しましたが、一日も早く新型コロナウイルス感染症が終息し、通常の状態に戻ってくれることを祈っています。

お家でやってみよう!調べてみよう!

～「みどり野ブログ」の活用～

富山短期大学附属みどり野幼稚園



令和2年4月、新しいクラスでの生活が始まって間もなく、新型コロナウイルス感染症拡大防止による登園自粛が始まり、多くの園児が5月末まで家庭で過ごすことになりました。本園では「みどり野ブログ」を活用し、家庭との連携を図っています。自然物を使つての遊びや工作を紹介したり、野菜の栽培に興味を持ってもらおうと、太陽やミミズの有無によって生じるレタスやキュウリの生長の違いを観察したりしています。また、押し花の作り方をお知らせしたり、畑に植えたい夏野菜について問い、親子で調べるきっかけになるようにしたりしています。登園再開後も、家庭とのやり取りをとおして、園生活がより一層楽しくなるように工夫していきたいと思っています。